



宇野小からの風



うのっち

学校教育目標：心ゆたかに 元気な子ども

令和6年12月2日

「先生、ありがとうございます！」



校庭のイチョウがきれいに色づいています。2学期も残りわずかになりました。

ある朝のことです。児童通用門の掃き掃除をしていると、校舎のほうから手を振りながら「校長先生、そうじをしてくれてありがとうございます！」と、女の子の大きな声が聞こえてきました。私は最初は気付かず、どこからか声が聞こえてるなというくらいでしたが、その女の子は私が気付くまで何回も言ってくれたようでした。気が付いて私も大きな声で校舎にいる女の子に向かって「ありがとうございます」と手を振り返しました。直接自分に何かをしてもらったことではないけれど、自分たちの学校をきれいにしてくれていると思ってくれたのかなと思います。前回の学校だよりで紹介した「先生、一人で大丈夫？」のエピソードを児童朝会で全校に紹介したので、もしかしたらこの女の子も相手に対する思いやりや感謝の気持ちを伝えよう意識してくれたのかもしれません。

相手が友達でも、家族でも、先生でも、だれに対しても思いやりや感謝の気持ちを伝えることができるのは素敵だと思います。これからも宇野小学校でこんな素敵な言葉をたくさん見つけていきたいです。

「自ら進んで」

朝の「あいさつ運動」が、とても盛り上がっています。あいさつ運動は宇野小学校の伝統の活動の一つで、運営委員会と週目標の担当学年が交代制で毎日することになっています。

ところが、最近では当番ではない子どもたちが“自ら進んで”あいさつ運動に参加してくれています。特に多いのが2年生です。多い日には10人近くが登校してくる一人一人に元気よく「おはようございます！」とあいさつをしてくれています。今、今年度一番の盛り上がりを見せているのではないかなと思うほどです。とてもうれしいです。

でも実は、この盛り上がりに至るきっかけは5年生の女の子たちの“自主的なあいさつ運動”がきっかけだったと思います。ある月曜日（月曜日は当番がいません）、誰も校門にいないのを見て、「やってもいい？」と自分たちからあいさつ運動をしてくれたのです。それを見た一人の2年生の女の子が「私もやる！」と毎日参加するようになり、次第に人数が増えていきました。今では1年生も一緒に参加してくれている子もいます。

この姿には、「自ら進んでいいと思うことをする」ということと、「いいことをしている先輩の姿のまねをする」という2つの素敵な姿があると思います。これからもこのような姿が宇野小学校に広がっていくようにしていきたいなと思いました。

